

広報

No. 107

くらが

昭和57年 5月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

少年健全育成座談会……………3～4

あの人この人……………5

— 鴨田安蔵さん—

カメラルボ……………6～7

— 内谷太々神楽復活—

おしらせ……………8～9

公民館だより……………10～11



大木戸小学校2年 松浦 司



藤田小学校1年 後藤 亮



藤田小学校1年 小林 享一



小坂小学校1年 後藤 歩



大枝小学校1年 鈴木 涼子



森江野小学校2年 佐久間敦子

'82 5月 ぼくのおかあさん 5月9日は母の日。おかあさんありがとうと各小学校の子供さんが描いた絵です。



見つめよう子供の世界を

健やかに育てようみんなの力で

出席者

- ◆ 教育長 堀切光孝(司会)
- ◆ 民生委員 地善
- ◆ 児童委員 野善
- ◆ 森野小PTA会長 戸惣兵衛
- ◆ 飯沼中教諭 沼保良
- ◆ (生徒指導係)
- ◆ 藤田小教諭 田義雄
- ◆ (生徒指導主任)
- ◆ 池田小教諭 木野孝恵子
- ◆ (生徒指導係)
- ◆ 大菅野小教諭 菅野正
- ◆ 社会教育主事 渡辺正
- ◆ 公民館主事 佐藤和夫
- ◆ (青少年教育担当)

五月は「児童福祉月間」です。木々の若葉のように、子供は日々すくすくと成長を続けています。心身ともに健やかに育って欲しいと願うとともに、そのための健全育成を積極的に社会全体で進めてゆく必要があります。

五月六日、役場会議室で学校、地域、家庭、町の関係者にお集りをしていただき少年の健全育成について話をしました。とかく、関係者のみの掛け声だけに終りがちなこの種の運動が広く町民全体に浸透するよう願うものです。

学校・地域では

教育長 青少年健全育成については、常々皆様にご尽力をいただいております。感謝しています。本日は特に少年の健全育成を中心に、それぞれの立場からご意見あるいはご要望などお聞かせいただきたいと思っております。



菅野教諭

菅野 大木戸小は児童数が百三十三人と少ないので、全部の教師が全児童の顔と名前を覚え、常に声を掛けあっています。一つの方法として、子供の顔写真を校長室前に掲示しています。また、入学前に家庭でしつけるべきもので、まだ身についていない点が結構ありますので、これらの点については学校でも基本的なまきまりをつつて習慣化させてゆくといったことにも努力しています。次に、父兄と学校、あるいは親子の間の話し合い、触れ合いを持つと昨年、全父兄と子供が体育館でタコづくりをしました。後日タコ上げ大会も聞き好評でした。



池田教諭

池田 校内においては学業との関連があります。特に授業についてゆけない子供に非行が多いという傾向もあるので、個別指導で一人一人の姿を見てゆこうとしています。また、校外子ども会の班長会を毎月一回聞きその中でいろいろな問題点を話し合っています。これで校外での子どものある程度学校でも吸収できます。形から内容に入ってゆくことも必要だと思います。たとえば今月は「あいさつ」翌月は「ことばづかい」といった、その月の努力点をきめ、姿勢を正していきたいとも思っています。校内の問題が校外に、校外の問題が学校に、互いにとり入れられて、対策をたて指導していく必要がありますね。

飯沼 今、中学校は特に非行問題等で注目的になっていますが、幸いにして県北中では大きな問題はありません。しかし、小さなこととは決まてないわけではなく、非行防止はやはり、早期発見が第一です。芽が小さいうちに完全に摘むことが大切ですね。また、非

摘むことが大切ですね。また、非

行の集団化も最近の特徴なので、その防止の徹底もしなければなりません。中学校では学習指導がもちろん大切なことですが、その基本となるのは生徒指導なのでそれを一体的に捕えて取り組んでいきます。生徒指導では生徒個々を理解したうえ個別指導に力を入れていきます。生徒を理解してゆくには、生徒活動の場を与えてゆくこと、たとえば、生徒会活動の活発化をはかり生徒の自主的な態度を育成してゆくことなどです。



学庭のしつけが第一なのだ痛感しています。そこで、PTAなどで親が話し合う機会を多く持つ必要があると考えています。森江野小では、方部別にも懇談会を持ち合っています。親さんたちは、ぜひ出席していただきたいものです。



中央戸森江小PTA会長

教育長 知的指導とともに、心の教育を重んじなければならぬのが学校の現状です。いわゆる落ち

過保護は親の態度から

こぼれの子供、学習に意欲のない子供が割合に非行に走りやすい点から、一人一人の子供をいかに理解して指導してゆくかが学校の大きな課題だと思います。そのためには父兄の方々の太い息づなが求められています。

豊地 子供の過保護とよくいわれていますが、私もそのとおりだと常々感じています。中国に旅行した折に、「日本ではたいへん子供を大切にしているんですね」といわれたことがありました。そういえば登下校の際、日本のようにPTAや交通安全協会の人たちが街頭指導をしている光景は中国では見られませんでした。子供たちが自ら集団で安全通学をしています。甘やかしてなく子供は子供なりに責任のある行動をとらせる教育が必要です。また物的環境も大切だと思います。中国では公園が大変多く、子供と老人はそこで遊ぶ大変休んだりして、往來ではあま



豊地民生委員

親の考え方を変えなければと思います。子供の教育が一番大切な時期に共稼ぎでどうしても家庭教育がおろそかになりがちです。親の教育が先決ですね。社会教育の場でぜひ取り上げていただきたいと思います。また、父兄が集まる機会毎に積極的にこういふことを話し合ってもらいたいも



佐藤主事

り見かけません。うらやましい限りでした。佐藤 小学生の仲間づくりの事業をやっていると感じたことは、別に遊びや遊び方がわからない子供が多いということです。昔はガキ大将とか年上の者に教わった遊びが今は、ガキ大将もいない年上の者とも遊ばないから途切れていいます。だからビー玉の持ち方も知らない子供が普通です。工夫して遊べるせいかなとも思っています。また、マナーの面で親の甘やかしを感じます。靴を乱雑に脱ぐのは子供、それをそろえるのは親といった状態です。身近なことから考えなおさないとい。



のです。子供の方にも映画など教材の工夫で効果を期したらと思います。教育長 教えるべき点は、教え、しつけるべき点はきびしくしつけるといった基本的な態度が必要だと思います。町としても、婦人学級、家庭教育学級、乳幼児学級、あるいは今年から始まる明日の親の学級などの講座の質を高めて家庭教育を充実させていきたいと考えています。学校やPTAの協力もぜひお願いします。戸 夏休み中の旅行だけの子供会でなく公共施設の清掃奉仕、スポーツなどを通じた年間の地域ぐるみの育成活動も必要でないでしょうか。

毎月二十日は少年を非行から守る日

子供には寂しい面も

渡辺 知育がよければ人間そのものがよいと錯覚を持つ人が多いような気がします。むしろ逆で、健康そのものを基本として徳育を問題にすべきですね。また、過保護の話も出ましたが、高校教師の経験からいって、過保護の一方、子供は精神的に寂しい面も多いのではないかと思いますが、この寂しさはよい方向にどう発散させてゆけばよいか、この方策が今までは、暗中模索の時代で、具体的なビジョンが見い出せない、方策の立てにくい時ではなかったかと思えます。子供の回りには刺激が多いので、それをよい方向にもっていくには、文化財に触れさせるとか、スポーツに親しませるとかも一つの方法でないでしょうか。そして、もつといろんな人が皆んなでこのような具体的な方策を考え、実行に務めず時に来ていると思えますね。



渡辺 社教主事



堀切 教育長

教育長 頭でっかちの知育偏重の風潮を変えてゆく努力をしたいと考えています。

佐藤 本日の会議のように広い範囲で話し合う機会はぜひ必要です。そして、非行防止以前の子供たちの心身をより健康に育成していく人的物的環境づくりをもつと積極的におし出していく話し合いにしたいと思えます。会議の名称も柔らかなニュアンスを持つようなものにしたらなども考えます。

環境施設の整備を

奥地 町民プールなどの運動施設の充実や町民体育大会など地域全体で楽しめる行事があればいいですね。

穴戸 テニスブームで町でもやる人が多くなっています。テニスコートもぜひ欲しいと思います。プールにしろテニスコートにしろ親子と一緒に遊べる場は、いい方の意識の疎通が図れる点ではいい方

策の一つです。これらの整備も町で考えていただきたいと要望します。

地域全体で子供に関心を

飯沼 以前に、よその町の生徒があきびんを持って来て町内の店で売ろうとしたことがありました。それで思ったことは、地域の皆さんがどの子供も町の子供として、自分の子供として大切ということ

です。子供がいったん校外に出れば学校では目が届かない面があります。町全体が子供の行動に関心をもつことは、大変大切なことだと思えます。また、子供の方も町民全体に関心もたれていると感じれば、おのずと行動に責任を持つのではないのでしょうか。



飯沼 教諭

池田 いろいろなデータを見ますと、中学校高校で問題を起す子供は小学校時代に何らかの問題点があったものといわれています。教師の目で発見できない点もあります。

表面に出てこない点はそれだけ指導しにくいので、それをカバーしてもらいにはいろいろな団体との密な連携が必要となるわけです。そのためにも、PTAを初め、婦人会や青年学級などの各種の団体でその事業の一部の中に、健全育成の

ことを取り上げてもらう。そうすればこの意識の高揚がはかられ、町民全体で声かけ運動も始められると思います。父兄が二、三人集まれば学力のことだけでなく、健全育成の話題になるといったこと

になるような根の深い運動が必要だと思えます。

教育長 本日は有意義なご意見をありがとうございました。これらをもとにしながら、さらに前進できるよう努力してゆきたいと思えます。今後このような会議を多く持つ考えです。なお一層のご協力をお願いして会議を閉じさせていただきます。

阿部さんが再任
— 県青少年育成
— 県民運動推進員 —

阿部さんが再任

— 県青少年育成 —

— 県民運動推進員 —

福島県では青少年育成県民運動の地域における推進をはかするため、推進指導員を設置しています。

町から阿部恒夫さん(大木戸・52歳)が昨年度に引き続き担当することにになりました。この運動の

児童手当制度の該要

●児童手当

十八歳未満の児童三人以上養育している、そのうち一人以上が義務教育終了前のとき。

月額五、〇〇〇円か七、〇〇〇円(所得による)

●児童扶養手当

十八歳未満の児童で父親がいな

いか、一緒に生活できないとき。

月額三、二〇〇円(二人のとき三六、二〇〇円)

●特別児童扶養手当

心身に障害のある二十歳未満の子供がいるとき。中度障害、月額二四、〇〇〇円、重度障害、月額三六、〇〇〇円

●児童手当特別給付

所得制限のため児童手当が支給されない被用者(厚生年金等加入者)であって、一定の所得未満の

昭和五十七年六月から六十年五月まで支給されます。

該当者には、申請の方法等を後日通知します。

※以上の手当制度の詳細は町住民課福祉係にお尋ねください。



阿部 恒夫さん

地域への普及にとって重要な職務です。ご活躍を期待します。

あの人この人

56

春日神社太々神楽保存会長 鴨田安蔵さん 内谷字西46 (59歳)



去る四月十九日、平素は深閑とした鎮守の森に鎮座する春日神社の社殿で、爛漫と咲きほこる桜の花と競うがごとく、絢爛としかも厳そかに内谷太々神楽が奉納された。「伝統ある内谷太々神楽を保存伝承すること、明るい地域社会をつくることを目的に、保存会が作られたわけですが、ガラにもなく会長を引き受けてしまっ」と語る鴨田さんは血色のよい頬を

ほころばす。
昭和二十六年の奉納を最後に中断されていた太々神楽も、このままでは絶えてしまっ、いま残っている数少ない楽人たちの強い要望と氏子たちの昔を憶ひ懐しむ声に五十七年一月一日保存会結成の運びとなった。
「明治十五年太々神楽発足当時から数えて、今年で百年目に当る。この記念すべき年に保存会ができ、未来に伝承するといふ熱意がみり奉納できるといふことは本当にうれし。昔は、秋の例大祭には三日間ぶつとうして奉納された記録もあり、またよそのお祭にも特別に請われて奉納されたとの記録も残っています」。

何分にも三十年の空白は残念なことでもあるが、こんなエピソードもある。楽人の中に一人だけ残っていた笛の名手、熊坂園治さんは笛がなくなり、笛を吹いても音が出ない。しかたがないので声色に合せて笛を教えていたところ、ある日突然笛が吹けるようになったという楽しい一こもあつた。神楽に使う衣裳の新調については、はるばる京都から取り寄せた。鈴、能面なども痛んでいて使えないものにならないので修理に出した。刀六振の新調、うち三振は子供用の短いものを調へるなどと、将来の後継者のための配慮もある。
「正月から毎週木本金曜日の夜、午後七時から十時までたださへ、寒い社殿での練習、それはつらいこともありました。四月十日からは毎晩夜の更けるのも忘れてけいこに励みました。十九日の例大祭には、滞りなく奉納できましたのも楽人たちの熱心な努力の賜と思つています」。

今回奉納された太々神楽は、伝承された全二十八座のうち、神招呼から始めて岩舞舞まで十三座、鳥取砂丘で有名な島根県の出雲流派に属しているという。相好をくずしながら語る鴨田さんは、内谷区長をはじめとして、農協理事、町土地改良区理事長、外に六つの役職を持ち、忙しい毎日ではあるが、何でも精力的になし、齢を感じさせない方である。

町職員人事異動

五月一日付(内は旧任)

- ▼総務課長(公民館長) 大内正美
- ▼公民館長(保健課長) 渡辺 等
- ▼保健課長(総務課庶務係長) 大波 健
- ▼保育所長(所長心得) 大沼 勉
- ▼総務課庶務係長(同財政係長) 大浪敏男
- ▼総務課財政係長(住民課生活環境係長) 佐野貞治
- ▼住民課戸籍住民係長 教養社会教育係長 社教主事 春日一憲
- ▼住民課生活環境係長(水道課水道係長) 井砂研二
- ▼水道課水道係長(住民課戸籍住民係長) 山田 久
- ▼教養社会教育係長(総務課付係長・昨年度異動) 吉田俊江
- ▼住民課戸籍住民係(建設課建設係) 吾妻正子
- ▼公民館公民館係(産業課産業係) 吉田孝夫
- ▼産業課産業係(公民館公民館係) 八巻忠義
- ▼建設課建設係(総務課財政係) 大波サト子
- ▼税務課賦課係(保健課国保係) 武田 智
- ▼建設課都市整備係(保健課保健衛生係) 八巻秋夫
- ▼保健課国保係(教委学校教育係) 小西春彦
- ▼教委学校教育係(住民課戸籍住民係) 松田きよ江
- ▼総務課財政係(同庶務係) 菊地富子
- ▼建設課建設係(同都市整備係) 佐野 功

観月台公園をきれいに

公園管理委員 牧野 一郎
駅前部落会長

四月のこえとともに桜前線も北上し、公園に咲く桜の花がほんとうにきれいです。

わたくし、去る四月十九日早朝公園の見まわりにきましたところ、商工会婦人部のお母様方二十人ほど清掃にけんめいでした。

毎年のことですが、春から秋にかけて、いつも悩みの種は空き缶空きびん、それにナイロン紙くずなどが投げ捨てられています。心がいちたます。

公園はだれのものでもありません、みんなの公園です。みんなの



いこいの場所です。お互いに公德をまもら、遊んだあとはめんどうがらずに、備えてあるクズかごに入れ、きれいにしてお帰ってください。あとで公園にくる人たちが不快な感じをせずすに、楽しく遊んでもらえます。
商工会婦人部のお母さま方ほんとうにありがとうございます。

カナルポ



▲道案内の猿田彦の舞
さむらひこ

四月十九日、内谷の春日神社では、久しく途絶えていた太々神楽が三十一年ぶりに復活、この日の例大祭で奉納された。

地区の古老や楽人たちの間で、このままでは永久になくなってしまおうと復活の声が高まり、今年の一月、地区民挙げて保存会を結成し、この日の奉納となったものである。

奉納されたのは全二十八座のうち十三座だったが、四時間を越える熱演に参拝客一同じっと見入っていた。復活を祝うかのように今を盛りと咲き競う桜の下では、宴を張る人たちもみられ、地区の人には、楽しい一日となった。

若手楽人の一人、熊坂哲夫さん（三〇）は「明治からの伝統を引き継いだ喜びは大きい。二十八座全体の復元を目差してがんばりたい」と語っていた。

郷土芸能復活

内谷春日神社の
太々神楽



▲天の岩戸開き前に舞う天手力男命（左）
あまのこじからのおみこ



▲左右の舞 ひょうきんなひよっとこ



▲天の岩戸開き後に舞う天鈿女命
あまのうすのひめのみこと



▲笛、太鼓のはやしも巖かに

▼もちまきの大サービス





六月一日は

『商業統計調査』

実施の日です

卸売業、小売業、飲食店を営んでいる皆さん、通商産業省は昭和五十七年六月一日現在で商業統計調査を実施します。

商業統計調査は、全国の卸売業、小売業及び飲食店を営んでいるすべての商店を対象とする調査で、今回で第十五回目の調査にあたります。

この調査は、我が国の商店の販売活動の実態や分布状況と商品の全国的な流通状況などを明らかにすることを目的としたいわば「商業の国勢調査」ともいうべき非常に重要なものです。調査の対象となる商店の方々のご協力をお願いします。

なお、調査員は次の七名の方です。佐藤俊雄、赤坂素、斎藤ヒサ子、羽根田孝司、阿部重男、佐久間正、佐藤長寿。

今月の納税

固定資産税(第一期)、軽自動車税(全期)、西根堰土地改良区費(前期)、伊達西部土地改良区費(前期)、自動車税(全期)です。

固定資産税は例年四月が第一期納税月ですが、三年毎に土地についての評価の見直しの年に当りますので納税が一ヶ月おそくなりました。

この固定資産の評価額は自治大臣の定める評価基準により、全ての土地について適正な時価に合致するように見直しを行ない土地所有者相互間の税負担の公平を期するために行ないます。

適正な時価については、国土庁の地価公示、国税庁の相続税評価等の上昇を参考に調整されます。しかし上昇額を今年度に一挙に引き上げることは致しませんので、五十九年度までの三ヶ年にわたって均等に負担の調整を行うこととなります。

1日省
1日分の電気を省く
東北電力

◎現場はそのままに、おかしいと思ったらすぐ110番

桑折警察署



旅客運賃の割引について

身体障害者に対する国鉄の運賃割引については、役場より割引証の交付を受け乗車券を購入しておりましたが、昭和五十七年四月二十日から身体障害者手帳を呈示するだけで、旅客運賃の割引が受けられるようになりました。

※割引乗車券の購入にあたっては、身体障害者手帳を駅の窓口へ呈し、行先、乗車券の種類等を口頭、またはメモの呈示により申込む、割引乗車券を購入するようになります。

半田山が丸太山といったころのお話です。

その昔、デエラポッチという巨人がいたそう。その大きいことといったら、ここから見える霊山の鼻かけといわれているところから、浜に出るまで一またぎ半だったんだ。

そうして海につかり、波とたわむれ、遊びあきるとまた帰ってきて、阿武隈川で足を洗いた丸田山に腰を下し、ロダン「考えん人」よろしく、ぼんやりと太平洋を眺めているのがデエラポッチの日課だったそう。

その頃、目の前にひらける信達の野原は、吾妻山の山裾から梁川の栗生の山の方まで、平坦な何の変りつもない平野だったそう。

昔ばなし

デエラポッチとたんがら山



そこで、あるときデエラポッチは、一つここに山あり谷ありという庭を作ってみようと考えたんだ。

そうして大きなたんがらを作った。今まで自分が腰を下していた山の土を一すくい、福島あたりに一つあけてみた。だがどうみても一つ足りない。もう一すくい空けてみたが、思うような築山にはならなかつたんだ。

何しろ図体の大きい巨人のすることだから、やることもなすことも大ざっぱ、考えることも大ざっぱ、いままでやったことも何をしていたのかわからなくなつたんだ。

「エーめんどうさい」とたんがらの尻を二度ほど叩いて左手の山に伏せてしまいました。みるといままでも腰を下していた丸田山が半分ほどなくなつてしまし、しかたなく上の方行ってみようとして旅に出かけたんだとき。

こうして今の半田山ができたわけなんです。途中富士山にけついでころびながら、いろいろな足あとも残しているそうです。

また今の福島の御山は、大きなたんがらで二つ空けた土くれで、尻を叩いて落ちた土が一盞森になったんだそうです。そして国見の阿津賀志山は、デエラポッチのたんがらであり、それ以来あつた山のことをたんがら山というようになつたんだそうです。



国見町公民館
電(公) 2676
話(有) 4156

町職員的人事異動が五月一日付で発令されました。今回の異動で、大内公民館長と八巻主査が異動し、渡辺等新館長と吉田孝夫主査に引き継がれました。二人とも豊かな経験と幅広い知識をもって意欲十分です。今後、みなさん、よろしくお願いします。

愛される公民館づくり”に” 就任にあたって

公民館長 渡辺 等



渡辺 公民館長

新緑の候、町民のみなさまにはますますお健やかにお過ごしのこととお察し申し上げます。さて、この五月一日付の町職員的人事異動によりまして、不再私が、保健課長から公民館長を拝命いたしました。もとより浅学非才ですから、その職務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであ

ります。社会構造の変化に伴ない、生涯教育の必要性が広く叫ばれ、ますます多様化、社会の変化が進むであろうことは、容易に理解されるところであります。そのため日頃日常生活の中で、これらの変化にどう対処しゆくか、私たちに課せられた極めて重要な問題であります。こうした様々の課題に取り組むための場が、公民館であります。またある時は、公民館は、住民の方々の”憩いの場”としても、大切な役割を持っていきます。このような役割を持つ公民館が本当にひとりひとりの生涯に欠くことのないものとして育つたためには、人と人との結びつきを大

切にしてゆかなければならないと思っております。公民館は、だれのものでもありません。町民一万二千百有余人の方々の公民館(町民福祉センター)であり、町民体育館、町民運動場であるわけであります。自分のものとして、いつでも、どなたでも、お気軽にご利用いただきたいと思います。このように、みなさんから”愛される公民館づくり”に、新たな意欲と責任感をもって、つとめてまいりたいと存じますので、町民皆さま方のあたたかいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、公民館に対し、何んでも結構ですから、ご意見、ご要望をお寄せ願ひ、叱咤激励いただきましたと存じます。

社会体育担当です よろしくお願いします。



吉田 主 査

文連紹介

国見フラウエン

会長 奥山 愛子

私共、国見フラウエンも四十六年四月に産声を上げてから、楽しく歌い続けてもう十二年目を迎えました。地域の皆様の御支援と家族の惜しみない協力のもとにスタックと育つ事が出来ました。そしてもっとも大きく成長したいものと願っております。月二回の練習日を持ちハーマニーを楽しみながら地域の皆様とのふれあいの輪をひろげ、明るい家庭作りを願っております。美しい音楽にふれる喜びを、一人でも多くの方に解って頂きたいと思う気持ち一杯です。国見フラウエンは昨年の暮にF T V に出演しましたが、私共が年間に持つステージは四回あり九月の県北地区おあさん合唱祭(今年は県文化センター)を初めとして、県の合唱祭(今年は平市



民会館)そして町の文化祭と成人式出演です。何と言ってもステージがある事は励みになる事です、練習も本気で頑張れるのだと思います。会員もそれぞれに仕事をもちながら忙しい時間をやりくりして頑張っております。そしてただ今、待望の素敵ユニホームを制作中ですので、期待に胸はずませながら会員一同一層楽しく、歌声も晴れやかなこの頃です。

新規学級案内

明日の親のための学級 (「ニューファミリークラス」)

★対象者 これから親となる夫婦、結婚をひかえた青年男女。

★内容 妊娠、育児、病気の対策、マナー、料理等。
★期日 六月二十日・七月二十三日
★期日 前日金曜日夜七時三十分から
※くわしいことは、町教育委員会または、公民館へ

出向く公民館

農協巡回文庫

公民館では、一般町民の方々一人でも多くの方に本を読んでもいただくように国見町農協各支所窓口へ二〇冊の図書を配置しましてみなさんご利用をお待ちしています。

いままでは、本を読みたくとも遠く利用を遠慮していた町民の方々が多かつたようですが、今回の巡回文庫でその悩みも解消されどの支所においても大変良い評判になっていきます。

ぜひ、まだご利用されていない方がいましたら簡単な手続きで、ご利用できます。

お近くの農協支所へお立ち寄りくださいまして、一人でも多くの方に本を読んでいただくように、お知らせいたします。



農協巡回文庫

なお、巡回の期間につきましては、三ヶ月を目標にして本を交換する予定です。

また、この巡回文庫を機会に公民館図書目録(一般図書のみ)を作成しました。希望される方は、公民館まで申し出てください。

乳幼児学級

からのお願ひ

生涯教育の一端である乳幼児学級も、今年で三年目を迎え、去る四月二十八日に、町長、教育長さん、渡辺社教主事の臨席のもとに開講致しました。

講義として、福島女子短大の渡辺彦彦先生の「〇才から三才までの心理的発達と環境づくり」の学習を受け、先生と、学級生との熱心な質疑応答が行われ、大変よい勉強をされたと思います。

◆次にお願ひします。

1、ボランティアの方について
若いお母さん方が安心して、約二時間の学習が出来る様に、つれてこられた子どもさんの保育管理をして下さる方お願ひします。

十二名の方が積極的に申し出て下さっているわけですが、その時の事情によって全員出席して下さることもありませんので、今数名の方ご協力いただきたいと思ひます。

電話で結構でございますので、公民館の方へご連絡下さい。

2、遊び道具について

皆さんのご家庭で、使用済みになられた、おもちゃとか、遊び道具がありましたら、ぜひ拝借したいと思ひます。子どもさんが、大きくなられて、片すみに使わないこともあるので結構です。ご連絡頂きましたら、公民館からお伺ひします。よろしくお願ひします。

3、入級希望なさいませんか

十一月末まで、十回の学習を計画しています。お子さんの成長のために、是非入級なさって、勉強して下さい。次回は五月二十六日(水)「基本的なしつけと、社会的なしつけ」について学習する予定になっております。



乳幼児学級

文芸欄

あつかし俳句会

四月二十五日

じゃんがら念仏高らかに称え法然忌

いそがしき勤め持つ娘や花吹雪

花散りて園に古りゆく忠魂碑

燭六つ灯りて花の六地藏

夕西うすれて白し夕桜

春眼の気兼ねも無くて老夫婦

杖ひきて余生ののしき花の下

降るとなく降らぬともな五月雨

娶らせてはつと安堵の花見酒

降り止まぬ雨にしだるる桜かな

さくらさくらの子の無事願う六地藏

短歌

幾日もかかりて漸く味噌豆を

選り終りたりはつと思つく

植菌を終えし夫は茶を飲みて

成果いかにとひとり言せり

郷土史研究会

奥州戦跡廻り所感

みちのくの史跡尋ねて花の路

阿弥陀佛静まりおわす高蔵寺

高蔵寺老杉に秘める遠い夢

白鳥の故事清々し明神社

つわもの首塚草に埋れて

ゆくりなく祭の出合いや道祖神

一千年昔を偲ぶ城跡跡 (義祥居士)

高橋 セン

(鳥取)

齋藤 義吉

(第四)

